

○下北森林管理署の「令和2年度採材協議会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材現地検討会等に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。

令和2年6月22日(月)に青森県下北郡東通村の中野国有林で開催された「令和2年度採材協議会」に、青森事務所から2名出席してきました。

やませによる霧雨が漂う少し肌寒い中、関係団体や署管内の林業事業体の作業員など約35名が参加しました。

会場となった現地はスギ35年生の間伐箇所であり、今回の採材協議会ではスギの採材について検討を行いました。

冒頭、署長より需要動向に応じたスギの適切な採材の情報共有と、先週他署で発生した労働災害の概要周知、類似災害防止について挨拶がありました。続いて下北署の担当者より、採材から巻立までの基本的な考え方や留意事項等を周知し、その後3本のスギ全幹材について、曲りなどの欠点等を確認した上で、ハーベスタで造材した後、丸太の曲りの程度を確認するなど、採材の考え方について意見交換を行いました。

また、下北署でも平成29年度より実施している生産性向上の取組みについて概要を周知するとともに、今年度下北署に導入された、iPhoneで林道沿いに積まれた丸太を写真撮影するだけで簡単に本数や材積を計測できるアプリ「AI丸太検知くん」を紹介・実演し、林業事業体参加者等に実際に使用してもらいました。

最後に青森事務所からは、最近の販売状況を踏まえた採材の指導や丸太の適切な仕訳について講評をさせていただきました。

青森事務所では今後も国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。

